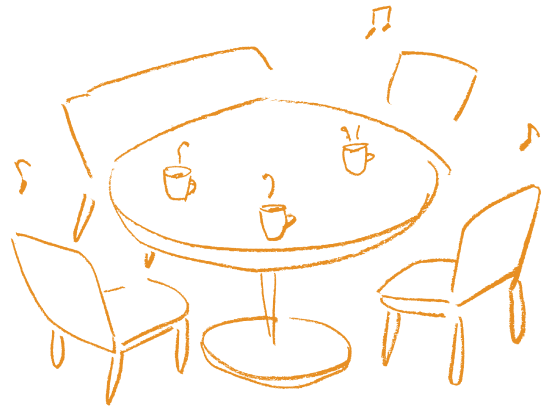


人が好き
浜松が好き!



人とのふれ合いを大切に、穏やかな好循環を未来へ

● 人が集う、地域の情報発信基地に

みなさんは不動産業に対してどのようなイメージを持たれているでしょうか。どこか敷居が高かったり、話を切り出すのに時間がかかったり。お店へ訪れてはみても、ちょっと緊張してしまうかもしれませんね。確かに、取り扱うものは土地や建物などの無機質な“モノ”。でも、その奥やその根っこには、豊かな感情を持った人と人とのふれ合いがあり、目に見えない熱い想いや幸せな未来図があふれているはずと私たちは考えます。“モノ”ではなく“想い”を動かしたい。人と人とのつながりを、大切にしたい。みんなで応援し支えたい。そんな気持ちを表現するため、まずは自分たちの存在意義と拠点のあり方を見直しました。

「モノを売り買いする店」ではなく「人と人が想いを交わらせて幸せな未来図を描く場所」にしたい。そこに、笑顔や夢、家族を包み込むような温かさがあれば尚いい。想いをぐるぐる巡らせ

たくさんの笑顔から出る夢の話に耳を傾け、大好きな浜松のために何ができるかを考えた結果ここを地域の「情報発信基地＝メディア」にしようという想いにたどり着きました。

ちょっと小むずかしく聞こえるかもしれませんが、メディアというのは、いろんな話題が集まって来たり出たり行ったりするステーション。集会所のようなイメージでもいいし、おしゃれなカフェでもいい。そのカタチは自由自在。写真展が催されるギャラリーだったり、料理教室だったりパン屋さんだったり。発想は無限です。

ただ、そこに必ずあるのが、人と会話、共有される時間、ドキドキワクワクする好奇心といった有機のもの。人が人を呼び、その輪がどんどん広がりさまざまな職業の人たちが結び付きを深め、新たな人間関係が築かれていく。大切なのは人と人。

そこに人がいるからこそ生み出される価値観や有意義な情報を地元の方々に発信し、地域社会に還元する。そんな情報発信基地になっていきたいと考えています。

● 心地よい人間関係のきっかけづくりを

人と人とのつながりが稀薄だとされる現代社会ですが、一人ひとりの心の奥には、人間らしい、温かくて穏やかな「他人を思いやる気持ち」が必ず存在すると思っています。街の景観が画一化されインターネット社会が発展する中で、現代人は人と接しなくても生活できる便利さをちょっと利用しているだけ。そんな風に思うのです。

道で困っている誰かに声をかけたり、共通の趣味を持つ誰かと出会ったり。ほんの小さなきっかけ一つでそこに会話が生まれ、人と人とのつながりが築かれていく。人間関係なんてそんなもの。むずかしく考えなくても、人が人を呼び、居心地がよければ自然と人は集まってくるでしょう。

また、景観や流れる空気感がいいと感じる街並みには、モノだけでなく人と人との良好な関係が必ずベースにあるように思います。素敵な人間関係があるからこそ、居心地のいい街並みができてくる。躍起になって「地方活性」を叫ばなくても、この場所が好き、この街が好き、この人たちといたい…と生きていけば自然と地方再建もできるはず。そんな風に思うのです。

● あれこれと楽しいお話をしませんか？

フレンドリーで温かく、好奇心旺盛で愉快。イキイキと輝きながらも心持ちは穏やか。地域にはそんな魅力的な人物がたくさんいます。大切にしなければいけないものをきちんと守りながら次世代に向かって、人と人が地域貢献者として互いの想いを発信していく。かしこまらず、遠慮せず。この街が好きで、人間が好きで、ワクワクすることが大好きな人たちが、ワイワイと新しい価値観を生み出していく。PLUSは、そんな地域のみなさんが気軽にふらっと立ち寄れる、心の居場所のようなスポットになればと思います。

一度、当社、いや我が家へお越しく下さい。うちのメインテーブルには角(カド)がありません。四角じゃないのに、まん丸でも楕円でもない。そこには上座も下座もないのです。あるのは、同じ目線でなんとなく会話が始まるほんわかとした空気感。

ぜひ、いろいろとお話しましょう。挽きたてのおいしいコーヒーを飲みながら。



先々代の昔懐かしい写真 左が齋藤昌彦